

令和 7 年度 学校教育自己診断 分析結果について

【保護者アンケート結果について】

回答率：67%（昨年度比－6 ポイント）

27 項目中 26 項目において 80%以上の肯定的評価をいただきました。学校への信頼や教育活動への理解が一定得られているものと受け止めています。特に以下の項目では 97%以上の高い評価をいただきました。

- 児童生徒 1 人 1 台端末の活用（100%）
- 事務室の丁寧な対応（100%）
- PTA 活動（97%）
- 防災・安全教育（97%）
- 個別の指導計画・教育支援計画の作成と説明（97%）
- 学校間交流・居住地校交流（97%）
- 保護者相談への対応（97%）

これらの項目については、本校の強みとして今後も継続・充実に努めてまいります。

一方、以下の項目については 80%を下回る評価となりました。

1「学校は専門性のある教員の配置に努めている」（74%）

昨年度より改善したものの、依然として低い評価となっています。聴覚障がい教育に加え、発達障がいへの対応や教科指導等、多様な専門性が求められる中で、保護者の期待に十分応えられていない部分があると考えられます。

今後の対応

- 校内研修の充実
- OJT の推進
- 経験の少ない教職員への支援体制強化
- 学校全体で専門性向上をめざした取組の推進

2「学校のホームページを通した情報発信に満足している」（80%）

教職員側の評価と比較して保護者満足度が低く、学校が発信している情報と保護者が求める情報との間にギャップがある可能性があります。

今後の対応

- 保護者ニーズを踏まえた情報発信の充実
- 学校生活や教育活動について分かりやすい情報提供

昨年度から大きく向上した項目

1「学校は子どものことについて保護者の相談に適切に対応してくれる」（79%→97%）

保護者との丁寧な相談対応や情報共有に努めてきたことが評価につながったものと考えています。

2「学校は他の学校の子どもたちや地域の人たちと交流する機会を設けている」（82%→97%）

学校間交流や居住地校交流の充実に加え、質問文の見直しによって本校の取組が保護者により伝わりやすくなったことも要因と考えられます。

3「学校運営に保護者・教職員の意見が反映されている」（68%→83%）

昨年度の課題を踏まえ、保護者への説明や情報共有を丁寧に行ってきたことが評価向上につながったと考えられます。

今後の対応 引き続き保護者の皆さまのご意見を伺いながら学校経営の改善に努めてまいります。

【教職員アンケート結果分析】

回答率：100%（昨年度比＋12 ポイント）

全教職員から回答を得ることができました。

特に以下の項目について 95%以上の高い評価となりました。

- 教育活動の評価と改善（100%）
- いじめ対応体制（100%）
- 個別の指導計画・支援計画に基づく指導（100%）

- コミュニケーション指導（98%）
- 進路指導（98%）
- 保護者への情報提供（98%）

一方、70%を下回る評価となった項目は次のとおりです。

「校内人事や校務分掌の分担は適性・能力を配慮し、教職員が意欲的に取り組める環境にある」（61%）

昨年度より13ポイント低下しました。教職員数の減少により、適材適所の配置や業務量の均衡に課題が生じていることが要因と考えられます。

今後の対応

- 業務の平準化
- 校務分掌の見直し
- 教職員の負担軽減に向けた検討

「各分掌や各部間の連携がうまく行われている」（68%）

昨年度から改善が見られるものの、学部間の情報共有や学校全体での統一的な取組について課題が残っています。

今後の対応

- 学部を超えた情報共有の促進
- ルールやマニュアルの整理・統一
- 全校的視点での課題解決機会の設定

「各教科の備品や教材教具が適切に配置され、十分に活用されている」（64%）

教材の老朽化や予算不足が継続的な課題となっています。

今後の対応

- 計画的な教材更新
- 予算の有効活用
- 外部資金や研究助成の活用

「経験の少ない教職員の育成や専門性向上を目的とした校内体制が整っている」（66%）

業務量増加や情報共有機会の減少により、人材育成体制への課題意識が高まっています。

今後の対応

- OJTの充実
- メンター機能の強化
- 校内研修体制の見直し

【保護者アンケートと教職員アンケートの比較】

- ・ 特に次の項目で評価の差が大きく見られました。

1 進路指導

保護者 81.8%、教職員 97.7%

教職員は高い手応えを感じている一方、保護者には十分伝わっていない可能性があります。

今後の対応 進路に関する情報提供や個別相談の充実を図ります。

2 ホームページ・情報発信

保護者 80%、教職員 92.9%

教職員は情報発信を行っている認識がある一方、保護者満足度には改善の余地があります。

3 事務対応

保護者 100%、教職員 73.2%

保護者からは高い評価を得ていますが、教職員からは事務室との連携や相談体制について改善を求める声が見られます。

4 専門性のある教員体制

保護者 74.2%、教職員 61.0%

双方とも課題として認識しており、特に教職員の課題意識が高い結果となりました。

【児童、生徒アンケートの結果】

小学部児童

15 項目中 10 項目で肯定的評価 100%となりました。学校生活や教員への信頼感が高いことがうかがえます。

一方で、

- 授業で意見や質問を言うこと
- 将来の仕事を考えること
- 交流活動

について否定的な回答も見られました。

「どんな仕事をしたいか考えることがある」は 90%となり昨年度より向上しました。デフスポーツ体験や職業体験的な学習が将来への見通しにつながったものと考えられます。

中学部生徒

17 項目中 3 項目で 100%の評価となり、多くの項目で 90%を超える高い評価となりました。

一方で、

- 学校ホームページ
- タブレットや PC 活用
- 部活動
- 先生への相談
- いじめや困りごとへの対応

について一部否定的な回答も見られました。

教職員アンケートでは高い評価となっている項目もあるため、生徒の受け止めとの違いに注視しながら教育活動の改善につなげていきます。